

2021年4月4日

復活(イースター)主日礼拝説教要約

あの方はよみがえられた

(マルコ16・1～8)

## 一、マルコの福音書の不思議

マルコの福音書は16章8節で終わっています。そうしますと、だれが読んで「途中で終わっている」という印象を受けるわけです。終わりのことばが、**「彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。」**だからです。

こうして、マルコの福音書は始めから16章8節のところで終わっていたのだろうか、あるいは失われたのであるうか、という疑問が出て来るわけです。私は単純な理由から、始めから8節で終わっていたと考える者です。と言いますのは、1世紀の時代、例えばパウロが手紙を出しますと、それが回覧されたために、受け取った教会は写しを作りました。福音書についても同じです。マルコの福音書が発行されると、すぐに写本ができたと思われれます。そういうわけで、16章8節よりも後が失われてしまったとは考えにくいからです。

## 二、コリント前書と福音書の復活

コリント人への手紙第一15章を見て

まいります。へーコリント15・3～8」パウロがキリスト信仰に回心したのは紀元33年頃のことです。したがって、**「最後に、月足らずで生まれた者のような私にも現れてくださいました」と**語っていますが、キリスト教会にはかなり以前から一員になっていたことが分かります。そのパウロが、**「私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、」**と語っています。言わば、ここに書かれていることばは、パウロも受けた、エルサレム教会の公式見解のようなものであると考えられます。ちなみに、パウロがコリント人への手紙第一を執筆したのは紀元55年頃ですから、回心してから二十年以上経っています。

さて、コリント人への手紙では、キリストは三日目によみがえられた後にケファ、すなわちペテロに現れたというのです。それから十二弟子に現れ、五百人以上の兄弟たちに同時に現れ、使徒たち——十二使徒とは別の使徒——に現れ、パウロに現れられたとあります。一方、福音書によれば、マルコには復活のキリストが御自身を現されたことが書かれています。マタイには、マグダラのマリアを始めとする女性たちに現れたことが書かれています。ルカには、キリストがよみがえられた日に、エマオという村に向かって歩いていた二人の弟子に御自身を現されたこ

とが書かれています。さらに、エルサレム市街の一室に閉じこもっていた弟子たちにも、御自身を現されたことが記されています。ヨハネには、マグダラのマリアに御自身を現され、ルカの福音書と同じく、エルサレム市街の一室に閉じこもっていた弟子たちに、御自身を現されたことが記されています。コリント人への手紙と福音書とは、どうしてこんなにちがうのでしょうか。分かりません。

## 三、「あの方はよみがえられた」

マルコは、パウロがコリント人への手紙で語った、キリストの復活について知っていたものと思われれます。ですが、マルコによれば、キリストの復活は、青年が語ったことばによってのみ知ることができます。16章6節です。**「青年は言った。『驚くことはありません。あなだがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。』**ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。」と。ちなみに**「青年」**は単数形で、マタイの福音書には御使いと書かれています。

まとめますと、マルコの福音書が語るの**「あの方はよみがえられました。ここにはおられません」と、「ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です」と語り、空の墓を示したことで**

す。他方で、パウロがコリント人への手紙で書いたことをそのまま受け止めるなら、今現在もよみがえられたイエス・キリストと出会う、あるいは幻の内に会おう方がいて、不思議ではありません。現に、復活のキリストの出会ったという、不思議な体験をする方がおられます。

ですが、マルコが語るメッセージに耳を傾けるなら、幻の内にキリストの御姿を見ることを求めて「信仰のカンフル剤」を打つ必要もなくなりません。どっちが良くて、どっちが悪いとは言えないと思います。幻を見ることに感動する方もいれば、そのような体験を毛嫌いする方もおられます。神はそれぞれに個性を授けられましたから、人によって受け止め方が異なります。

ペテロの手紙第一1章8節、9節をご覧ください。へーペテロ1・8～9」私は、幻を見ることを否定はしません。ですが、イエス・キリストを見たことはいなくても愛している、今見てはいないけれども信じている。そして、ことばに言い表せない、不思議な喜びに満ちている。これが、イエス・キリストを信じている者の姿、復活のいのちに生かされている者の姿です。

素朴な信仰、素直な信仰を、イエス・キリストを信じたときに授かった聖霊と聖書によって保とうではありませんか。